

図書資料の修理

— 基本的な考え方と知識・技術 —

2016年12月19日(月) 9:30-16:30

日本図書館協会 2階研修室

講師：真野 節雄（資料保存委員会委員長・

勤務先：東京都立中央図書館〈資料保全専門員〉）

壊れたら修理するのか…何のために修理するのか…
何を使って、どうやって、どこまで修理するのか…
本のしくみや工夫を知る…どんな修理をめざすのか…
やってはいけないことは何か…
健全でやさしく美しい修理ができる4条件とは…
講義と実習で学びます

【持参するもの】

カッターナイフ、定規(30cm以上)、ハンドタオル(小)2枚、ハサミ、ハードカバーでホローバックの壊してもよい本(実習用)

実習は、破れの補修などの基礎と表紙の外れた本の修理を予定しています

参加費：無料

定員：20名(申込先着順、ただし1機関1名となる場合もあります)

申込方法：氏名、住所、電話番号、所属を明記の上、E-mailにて

申込みください

宛先：日本図書館協会 川下

kawashita@jla.or.jp

〒100-0033

東京都中央区新川 1-11-14

電話：03-3523-0816



東京メトロ茅場町駅より徒歩5分